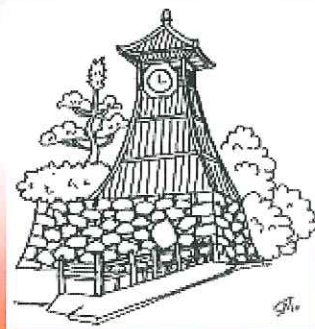


出石
城下町

伝建 かわら版



平成20年9月10日発行 編集/豊岡市教育委員会(文化振興課:TEL0796-23-1160、出石分室:TEL0796-21-9029)

伝建修理事業始まる!



伝建事業初めての修理工事が、
いよいよ始まりました。

左写真は本高寺山門の修理。メ
ンヨ工事で山門を引き上げて、基
礎や土台などを修理し、傾きを直
します。

下の写真は材木区F家住宅の修
理工事。半解体修理を行い、建物
を復原します。

どちらも文化財的価値のある「伝
統的建造物群」を構成する建築物。
そのため、使える部材はできるだけ
再利用し、建物の持つ歴史的価値が
損なわれないように修理工事を行
います。



左写真はF家住宅の修理前の状況。

来年2月末の完成を目指して修理が進められています。

着々と進む21年度事業

市教育委員会では現在、平成21年度の保存修理事業の実施に向けて着々と事務を行っています。今回はその状況についてお知らせします！

6/23 出石まちなみ保存会・出石まちなみ設計士会 合同会議

保存会役員と設計士会会員の初顔合わせ！
双方から活発な意見が出され、今後の伝建事業のあり方について話し合いました。

6/30 平成21年度伝建地区保存事業費補助金申請希望者の申し出期限

来年度の出石伝建地区保存事業費補助金申請希望者（修理修景事業実施希望者）を各地区で取りまとめました。

7/4 各地区保存会から補助金申請希望者を報告

各地区にて取りまとめていただいた事業実施希望者を保存会事務局（教育委員会）に報告していただきました。

7/11 第3回出石まちなみ保存会役員会

来年度の事業実施物件について、修理方法、事業実施優先順位などについて協議しました。

7/22 兵庫県教育委員会文化財室協議

本市の来年度及び中期的事業計画について報

告し、安定的に補助金が交付されるよう要望しました。県教委からは「修理優先度を判定するために、特定物件全件の老朽度調査を行うように」との指導を受けました。

7/23-24 補助金申請希望者に対する個別説明

補助金申請希望者に対し、事業のスケジュールなどについて個別に説明しました。

8/11 第2回出石まちなみ設計士会

平成21年度事業の補助金を国県に要望するための「基本設計」を行う要領について説明しました。また、担当される物件を決めて、設計にかかっていたいただきました。

8/26 第3回出石まちなみ設計士会

短期間のうちに仕上げた設計図に対し、設計士会の会員同士でその修理方法について協議しました。また伝建審議会の八木委員（国立明石工業高等専門学校教授）にも同席いただき、適切な修理方法について指導いただきました。



修理方法について、物件ごとに侃々諤々（かんかんががく）の議論が繰り広げられました。

出石まちなみ保存会 副会長 青山 克治 さん（魚屋）から一言！

出石は但馬の小京都といわれている様に情緒豊かな町ですが、最近では空家が多く目立つようになって来ました。その中には、伝統的な建物も多々あるようです。観光客も多く訪れる町としては、この様な空家の建物をなくし、伝統的建造物群保存地区として誇りを持ち、この町を訪れる人々に、ゆっくりと地区内を散策していただき、心の休まる良い町にしたいものです。そうすることにより、そこに暮らす私達も落ち着いた生活がおくれるのではなかろうか。

文化庁
“保存修理”
ロゴマーク

修理現場から

文化力
POWER OF CULTURE